

「グランドレベルで千葉市のまちづくりを考える ／地域を活かす建築家のファシリテーション」

建築まちづくりにおいて大切なことは地域特性を活かすことです。千葉市はJRと京成線とモノレールの鉄道結節点であり、それに挟まれた界隈、整備された中央通りと路地、葭川も含め、やや複雑な都市構造を持っています。ここで、まちづくりにも求められる視点は、グランドレベルです。道路づきの1階のスペース、公園、広場、これらは回遊時の眼の高さであり、賑わいを作る上で大切なネットワーク要素かつアクティビティを作るシーズでもあります。それをどう捉えればよいのか？どのように住民の声や目線を創造的に具現化するのか？を深堀します。そこで、グランドレベルの論客であり活動家である田中元子氏に「まちづくりにおけるグランドレベル」の話をいただき、次に千葉市まちづくり課の長島哲治氏から、「千葉市のウォークアブルなまちづくり」の話をいただき、それらを手掛かりに、住民参加のまちづくりにおける地域を活かす建築家のファシリテーションについて考えてみたいと思います。

●10月3日(金)18:30~20:00

●ZOOM ウェビナー方式 (CPD1 単位)

ZOOM 招待 URL <https://us06web.zoom.us/j/81425028256>

ミーティング ID: 814 2502 8256



※阿野太一(写真、喫茶ランドリー)



■田中 元子 (たなか もとこ)

(株)グランドレベル代表取締役社長、建築コミュニケーターとして建築関係のメディアづくりに従事後、2016 年「1 階づくりはまちづくり」をモットーとする株式会社グランドレベルを設立、2018 年私設公民館として「喫茶ランドリー」を開業、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス賞(地域社会デザイン)。設計コンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。主な著書に「マイパブリックとグランドレベル」「1 階革命」(晶文社)ほか。

- ・挨拶:松島逸人(JIA まちづくり会議 議長) 進行:松村哲志(建築まちづくり委員会 委員長)
- ・「まちづくりにおけるグランドレベル」田中元子(株式会社グランドレベル 代表取締役)
- ・「千葉市のウォークアブルシティまちづくり」長島哲治(千葉市まちづくり課 リノベーション担当課長)
- ・「まちづくりファシリテーターとは何か」連健夫(日本建築まちづくり適正支援機構 代表理事)
- ・鼎談 質疑応答 ※コメンテーター:田島則行(千葉工業大学教授/テレデザイン代表)
- ・まとめ

●主催:JIA まちづくり会議、建築まちづくり委員会、 ●協力:JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構



JIA 建築家大会 2025 千葉

JIA まちづくり会議・関東甲信越支部建築まちづくり委員会 + JCAABE 日本まちづくり適正支援機構 連携企画

まちづくりワークショップ

「まち歩き 千葉の「**たから**」と「**あら**」を考え、

発表会

会場：千葉県文化会館ホワイエ

web 傍聴できます！

12:20- Start

下記 zoomID へご入室ください。

<https://us02web.zoom.us/j/86319441962>

ミーティング ID: 863 1944 1962

パスコード: 935791



ゲストファシリテーター

田島 則行
(千葉工業大学教授)

提案しよう！

2025

11/7

10:10Start

集合：千葉駅前 10:00 予定

10:10-11:20 第一部 まち歩き

11:20-12:20 第二部 分析・提案ワーク

12:20-13:00 第三部 発表 (zoom 配信)

「まち」の主役である住民・市民と建築家がまちづくりを協働して進めていく手法・技術にファシリテーションがあります。少子高齢化、空き家・空き地、防災、地域活性化など、さまざまな課題がある現在のまちにおいて、その現状把握と解決への手立てはますます重要になってきています。建築家大会が行われる千葉の街をフィールドに住民、市民、行政、建築家など、多様な人々がワークショップとしてまち歩きを実施して、千葉の「たから」と「あら」を協働して考え、提案を行います。

参加者募集 先着順 20 名

住民・市民・行政 10 名、建築家 10 名

下記のグーグルフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/cWcDC8adRy3fmTa87>

